



# メディア ターミネーション ポイントの 設定

メディア ターミネーション ポイント ソフトウェア デバイスを使用すると、Cisco CallManager は、SIP または H.323 エンドポイントあるいは SIP または H.323 ゲートウェイ経由でルーティングされるコールをリレーできます。メディア ターミネーション ポイント デバイスは、DTMF または RSVP 要件に応じて割り当てることができます。RSVP 用にメディア ターミネーション ポイントを割り当てる場合は、SIP または H.323 デバイスなど、あらゆるタイプのエンドポイント デバイス間にメディア ターミネーション ポイントを挿入できます。

メディア ターミネーション ポイントは、ソフトウェアのインストール中にサーバにインストールされる Cisco ソフトウェア アプリケーションです。メディア ターミネーション ポイント デバイスを設定するサーバ上で Cisco IP Voice Media Streaming App サービスをアクティブにして開始する必要があります。サービスのアクティブ化と開始については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

データベースに定義されている各メディア ターミネーション ポイント デバイスは、Media Resource Manager (MRM; メディア リソース マネージャ) に登録されます。MRM は、システム内で使用可能なメディア ターミネーション ポイントの総数、および使用可能なリソースがあるデバイスを把握しています。

リソースの予約時に、MRM はリソース数を決定し、メディア リソース タイプ (この場合はメディア ターミネーション ポイント) および登録済みメディア ターミネーション ポイント デバイスのロケーションを特定します。MRM は、登録情報を使用して共有リソース テーブルを更新し、クラスタ内の他の Cisco CallManager に登録情報を伝搬します。

メディア ターミネーション ポイントとトランスコーダは、同一の Cisco CallManager に登録できます。詳細については、P.59-1 の「トランスコーダの設定」を参照してください。

各メディア ターミネーション ポイントは、登録先の Cisco CallManager を、優先順に並べたリストを受け取ります。各メディア ターミネーション ポイントが一度に登録できる Cisco CallManager は 1 つのみです。



(注)

SIP エンドポイントの機能によっては、Cisco CallManager で SIP コールを発信するときに、RFC 2833 DTMF 準拠のメディア ターミネーション ポイント デバイスが必要になることがあります。RSVP コールの場合は、エンドポイント デバイスに関連付けられた Media Resource Group List (MRGL; メディア リソース グループ リスト) に、RSVP をサポートするメディア ターミネーション ポイント デバイスを含める必要があります。

メディア ターミネーション ポイントを追加、更新、および削除するには、次のトピックを参照してください。

- [メディア ターミネーション ポイントの検索 \(P.55-2\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの設定 \(P.55-4\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの削除 \(P.55-6\)](#)
- [関連項目 \(P.55-7\)](#)

## メディア ターミネーション ポイントの検索

ネットワーク内にはいくつかのメディア ターミネーション ポイントが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定のメディア ターミネーション ポイントを見つけることができます。メディア ターミネーション ポイントを見つける手順は、次のとおりです。



**(注)** Cisco CallManager Administration では、ブラウザ セッションでの作業中は、メディア ターミネーション ポイントの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、メディア ターミネーション ポイントの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** **Media Resources > Media Termination Point** の順に選択します。

Find and List Media Termination Points ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、メディア ターミネーション ポイントを検索します。

**ステップ 2** 最初の Find Media Termination Points where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Name
- Description
- Device Pool

2 番目の Find Media Termination Points where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is not empty (非空白)
- is empty (空白)

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



**ヒント** データベースに登録されているメディア ターミネーション ポイントをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたメディア ターミネーション ポイントのリストが、次の項目別に表示されます。

- Media Termination Point icon
- Media Termination Point name
- Description
- Device Pool
- Status (状況)
- IP Address



**(注)** 該当するメディア ターミネーション ポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Media Termination Points ウィンドウから複数のメディア ターミネーション ポイントを削除できます。ウィンドウ内のメディア ターミネーション ポイントをすべて削除するには、**Select All** をクリックし、**Delete Selected** をクリックします。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致する Media Termination Point icon、Media Termination Point name、Description、または関連する Device Pool をクリックします。

選択したメディア ターミネーション ポイントがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.55-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## メディア ターミネーション ポイントの設定

メディア ターミネーション ポイントを追加、コピー、または更新する手順は、次のとおりです。



(注)

この手順を実行するには、Cisco CallManager Serviceability を使用して Cisco IP Voice Media Streaming App サービスをアクティブにする必要があります。サービスのアクティブ化については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

### 始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。
- デバイス プールが設定済みであること。



(注)

Cisco CallManager サーバごとに割り当てることができるメディア ターミネーション ポイント デバイスは 1 つのみです。Cisco CallManager サーバを追加すると、メディア ターミネーション ポイント デバイスがサーバ用に自動的に作成されますが、そのデバイスは Cisco IP Voice Media Streaming App サービスがアクティブになるまで使用できません。

### 手順

**ステップ 1** 次の作業のいずれかを実行します。

- メディア ターミネーション ポイントを追加するには、**Media Resources > Media Termination Point** の順に選択します。Find and List Media Termination Point ウィンドウが表示されます。Add New をクリックします。
- メディア ターミネーション ポイントをコピーするには、**Media Resources > Media Termination Point** の順に選択します。Find and List Media Termination Point ウィンドウが表示されます。コピーするメディア ターミネーション ポイントの横にある Copy アイコンをクリックします。
- メディア ターミネーション ポイントを更新するには、[P.55-2](#) の「**メディア ターミネーション ポイントの検索**」の手順を使用して、メディア ターミネーション ポイントを見つけます。

**ステップ 2** 適切な設定値を入力します ([表 55-1](#) を参照)。

**ステップ 3** Save をクリックします。


### 追加情報

[P.55-7](#) の「**関連項目**」を参照してください。

## Cisco IOS Media Termination Point の設定値

表 55-1 では、Cisco IOS Media Termination Point の設定値について説明します。

表 55-1 Cisco IOS Media Termination Point の設定値

フィールド	説明
Media Termination Point Type	<p><b>Cisco IOS Enhanced Software Media Termination Point</b> を選択します。</p> <p>このメディア ターミネーション ポイントのタイプに関する詳細については、『<i>Cisco CallManager システム ガイド</i>』の「メディア ターミネーション ポイント」を参照してください。</p>
Media Termination Point Name	<p>メディア ターミネーション ポイントの名前を最大 15 文字の英数字で入力します。</p> <p></p> <p><b>ヒント</b> ゲートウェイの Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) で既存の同じメディア ターミネーション ポイントの名前を入力してください。</p>
Description	メディア ターミネーション ポイントの説明を入力します。
Device Pool	使用している Cisco CallManager グループの中で一番高い優先度をもつ デバイス プールを選択するか、または <b>Default</b> を選択します。

### 追加情報

P.55-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## メディア ターミネーション ポイントの削除

メディア ターミネーション ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

現在使用されている、メディア リソース グループ内の最後のデバイスであるメディア ターミネーション ポイントを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するメディア ターミネーション ポイントを使用しているメディア リソース グループに、別のメディア ターミネーション ポイントを割り当てる。P.60-6 の「[メディア リソース グループの削除](#)」を参照してください。
- 削除するメディア ターミネーション ポイントを使用しているメディア リソース グループを削除する。P.60-6 の「[メディア リソース グループの削除](#)」を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** P.55-2 の「[メディア ターミネーション ポイントの検索](#)」の手順を使用して、メディア ターミネーション ポイントを見つけます。

**ステップ 2** 削除するメディア ターミネーション ポイントをクリックします。

**ステップ 3** **Delete Selected** をクリックします。

次の警告メッセージが表示されます。

You are about to permanently delete this Media Termination Point.This action cannot be undone.

Continue?

**ステップ 4** **OK** をクリックして、メディア ターミネーション ポイントを削除します。

このメディア ターミネーション ポイントがメディア リソース グループ内の最後のデバイスである場合、メディア リソース グループは空のグループとして残ります。

**ステップ 5** **OK** をクリックします。

---

### 追加情報

P.55-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [メディア ターミネーション ポイントの検索 \(P.55-2\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの設定 \(P.55-4\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの削除 \(P.55-6\)](#)
- [関連項目 \(P.55-7\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「トランスコーダ」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「メディア ターミネーション ポイント」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Resource Reservation Protocol」

■ 関連項目